

SSKW

みんなの家 だより

200号

2012・07・22 編集 社会福祉法人みんなの会 東大和市奈良橋6-728-2



第十九回みんなの家まつり

（作品市）

大成功！

工賃売上げの確保と地域の皆さんとの交流を目的とした「作品市」は、五月二十日（日）、風は少し強かったものの絶好の祭り日和のなか、大成功のうちに終える事ができました。

陶芸絵付け体験・さをり織りのコースター作り・手すきはがきと新聞のカラーページをつかったエコちぎり絵の各体験コーナーは開店早々から親子連れの方々が熱心に体験、陶芸・手芸品などの作品コーナーはじめ、みんなの店・バザー・やきとり・チヂミなどの模擬店も大にぎわい。特に今年初めての「くじ引き」では、景品は「四百円の商品券」。当りの鐘が鳴るたびに歓声もあがり、大好評でした。各売場には各所の利用者が交代でお店番に入って体験の指導をしたり、大きな声を出して販売、総売り上げは目標を上回りました。

当日お手伝いくださった皆様、お客様でいらしてくださった皆様、バザー品をご提供くださった皆様、ご協力本当にありがとうございました。

みんなの家まつり〜作品市〜を終えて

実行委員長 小川恵美子

作品市は、最高の天気にも恵まれ、みなさんのご協力のおかげで大成功に終わりました。

二月半ばの第一回の実行委員会から三ヶ月あまり、充実した実行委員会でした。とくに今年は、お客様をいかに集めるかが議論され、宣伝ちらしやポスターを貼ったりはもちろんですが、今年初の試みで、来場者の方にくじびきをしていただきました。本格的なガラガラくじで盛り上がりました。

お店当番も、一人一人が自分出来ることを、笑顔で時間いっぱい一生懸命頑張りました。売り上げも、すべて工賃収入になるということ、みなで一体となって頑張れました。あつという間の四時間で、地域のいろいろな方のご協力と、「継続は力なり」、まさに十九回の重みを実感した一日でした。



第二実行委員 鈴木 節子

初めて作品市の実行委員をやりました。当日はくじ引きやチラシ配りなどを担当し、忙しくて目が回りそうな一瞬もありました。でも、朝からたくさんのお客様が来て下さり、売り上げも良く大盛況だったので、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

第三実行委員 橋 才子

昨年、作品市に参加出来なかったのが今年には参加して、参加するなら実行委員をやるうと思いました。

お客様集めに、当日チラシ配りをして人通りが少ない中頑張って配りました。くじ引きもお客様の楽しそうな笑顔が見れたのでとても良かったです。皆様の協力でも楽しい作品市でした。



絵付け体験

昨年は二十八人が体験したので、今年は三十人を目標にした。実際には三十二人が体験してくれた。絵付け体験がとても楽しく、作業所にも来たいと言う子もいた。金券での体験者もいたので、売り上げ底上げの一助になったのではないかな。

子供が多く参加してくれたのでにぎやかでとても楽しかったです。とても忙しかったが順調に行われ、金券を使い参加した子供もいてとてもよかったです。

エコちぎり絵

今年は子供が多く楽しく参加してくれました。大人は二人だけでしたが、とてもいい企画だったと思います。



家だよりは今号で 二〇〇号になりました

みんなの家運営の中心の一つに機関紙を据えるという方針に基づき、みんなの家だよりは発行されています。家だよりは、みんなの家の夢、喜び、がんばり、悔しさなどが凝縮されています。みんなの家を紹介するには一番の代物です。みんなの声を載せて、三百号、四百号と積み上げていきましょう。

さて、我が国の国政史上例をみない暴挙が行われました。五月二十日参議院は障害者総合支援法を民主、自民、公明などの賛成多数で可決したのです。審議時間は僅か三時間。法律を作るときに行う参考人質疑もありませんでした。衆議院でも、参考人質疑を行わず、審議時間も僅か三時間でした。国民の強い反対のなか、自民・公明が強行し、二〇〇六年四月に施行された障害者自立支援法は自殺者をだし、少なくない施設が解散に追い込まれ、日本の福祉を守ろうと起こされた行政裁判で、民主党政権が(自立支援法は)「障害者の人間としての尊厳を深く傷つけた」と反省し、自立支援

法を廃止して、障害者の声を聞き、参加するなかでまったく新しい法律を作り直す、と法律和解した結果が今回の暴挙でした。

暴挙によって完成した法律は、自立支援法とやら変わります。政府が法律和解したことを反故にする。こんなことが許されたら、政治への不信は限りなく広がるでしょう。

自立支援法違憲訴訟団は政府の法的責任を問う裁判を準備していると聞きます。私たちは訴訟団に呼応し、東大和で、総合福祉法骨格提言で提起された福祉のあり方を探求し、みんなの家を強く、大きくすることでした。たかたかと思っています。

社会福祉法人みんなの会
理事長 森田実

みんなの家だより 第一号

共同作業所「みんなの家だより」No.1 (19.12.18) とは?

東大和にも 共同作業所がほしい

共同作業所「みんなの家だより」は、障害者からなるボランティアグループが、障害者支援のために活動している。活動内容は、障害者の生活支援、福祉の向上、社会参加の促進などである。また、障害者の声を代弁し、社会への理解を促す活動も行っている。

共同作業所「みんなの家だより」の活動内容は、障害者の生活支援、福祉の向上、社会参加の促進などである。また、障害者の声を代弁し、社会への理解を促す活動も行っている。

共同作業所「みんなの家だより」の活動内容は、障害者の生活支援、福祉の向上、社会参加の促進などである。また、障害者の声を代弁し、社会への理解を促す活動も行っている。

障害福祉ネットワーク 総会と連絡会

東大和障害福祉ネットワークの「総会&連絡会」が六月二十二日向原市民センターで、二十二団体中、十四団体四十名の参加で行われました。

前半は第七回総会、前年度の活動報告、決算報告さらに活動方針案や予算案、また海老原宏美代表はじめ役員全員の留任が承認されました。

後半では各参加団体が自己紹介、ネットワークの構成団体の中でも他団体の事は詳しく知らない、活動内容や課題など生の声が生々しく語られ、とても有意義な交流会となりました。

みんなの家からも各所利用者、施設長十名が参加、ひとりひとりが作業や自治会、クラブや一泊研修旅行などの活動内容をアピールしました。尾崎市長、福祉部長、障害福祉課長、福祉推進課長も参加しました。今後も市内福祉団体で手をつないで様々な課題に取り組みたいと思います。

第二みんなの家 地域交流会 「来て！見て！作って！」大成功

実行委員長 長澤静雄

七月一日(日)第二みんなの家に於て第三回・地域交流会を行いました。

毎年たくさんのお客様でにぎわう地域交流会ですが、今年は、天気も雨予報で不安でいっぱいでした。当日は、パラパラと小雨が降ったにも関わらず昨年と同様に二百人以上の来場者があり、とてもにぎわいました。

受付にいますと、子供たちが「おはよう」「こんにちは」などと大きな声で挨拶をしてくれたり、七夕の短冊を書く子供が「みんなが見るところで書くの…恥ずかしい！」などと呼んだりして面白かったです。嬉しかったです。

今年からは、もくもくさんのパンを売ることになり、どうなるか不安もありましたが、一番早く完売し一安心しました。是非、来年も、もくもくさんのパンを売り、少しでも工賃アップになるようにしたいです。一番のよび物の体験コーナーでは、陶芸

体験四十人、押し花のうちわ作り体験は、六十人の皆さんが体験して下さいました。事前の準備や当日は、忙しく大変でしたが、お客様一人一人の笑顔で疲れが一気に吹き飛びました。

また、来年も是非、第二みんなの家の地域交流会「来て！見て！作って！」に来てください。そして、みんな笑顔でいっぱい地域交流会にしましょう。

陶芸体験



押し花体験

きょうされん東京支部 とうきょう大会に参加しました

五月十一日(金)国立オリンピック記念青少年総合センターの会場で行われた、とうきょう大会に所員・ささえる会・職員二十名で参加しました。

今年で三回目となる大会テーマは「今こそひろげよう強めよう、つないだ絆を！」みんなが主人公の新作をつくるために、「全体で五百人以上での参加となったそうです。」

午前中に行われた全体会は、福島第一原発の事故に大きな影響を受けた南相馬市の「あさがお」の仲間とインターネット電話で交流をして、復興に向けてがんばっている姿に東京の皆さんも勇気をもらい、一緒にがんばろうと約束をしました。また「二〇一二とうきょう大会アピール」が読み上げられると、会場からたくさんの方々が拍手で確認されました。

午後の分科会では、特別試写会「それでも愛してる」とポッチャ大会に分かれました。ポッチャ大会は、みんなの家は四チームに分かれ、よその作業所の方々とチームを組み、白熱のなか楽しく交流ができました。

陶芸

注文承ります

手になじむやさしい形の器。
それはひとの手から生みだされた
あたたかさ。

そんな器と暮らしてみませんか？
ちよつとしたプレゼントや記念品に
よろこばれます。



マグカップ
¥500~

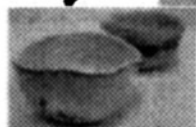


カップ&ソーサー
¥800~
etc.

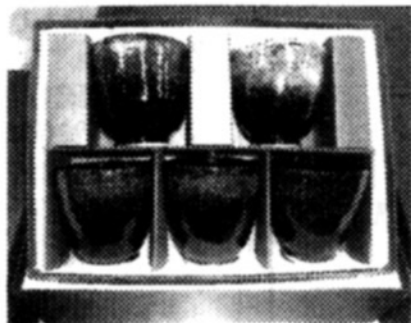


土と炎からの贈りもの

記念品・ご贈答用の
化粧箱入りも承ります
¥2000~



片口
ゆのみ
ごはんちやわん
¥400~



みんなの家は身体に障害のある人たちの
働く場です。市内外のカフェ、レストラン
などからも、ご注文をいただいています。
ご希望に応じてお作りいたします。
まずは、お気軽にお問い合わせください。

プロフィール

いろんな事にチャレンジ!
ですわ



第一みんなの家

芹沢 和子さん

芹沢和子さんは、二〇一〇年七月から第一みんなの家に通所しています。もうすぐ丸二年になり、作業にも、他の通所者のみなさんにもすっかりなじんだ様子です。

以前には、幼稚園の先生をしていたこともあり、ポスターを書いたり、売り場のポップを作ったりすることも、とてもお上手です。もともと社交的な性格なので、「通所のみなさんと楽しく話したり、笑いあったりできることがなにより嬉しくて」とおっしゃいます。とくに、昨年の秋の一泊研修旅行に参加できたことは、楽しく、思い出に残っているそうです。

最初は、陶芸の作業もできるのか不安に感じたそうですが、今では、とてもすてきなお皿の定番商品も作れるようになりました。お昼休みの毎日の散歩も適度な運動と気分転換になり楽しみにしているそうです。今後は、もっと大きな作品にも挑戦していきたいと考えています。

これまでの出来事

- 5月11～12日 きょうされん とうきょう大会
 14日 自治会連絡会
 20日 第19回みんなの家まつり
 ～作品市～
 23日 第9期第3回事務局会議
 24日 三中生ふれあい体験
 30日 第9期第1回理事会
 6月3日 環境市民の集い
 2日 第9期第1回評議委員会
 11～15日 市役所ロビー作品展
 15日 ささえる会世話人会
 22日 第9期第4回事務局会議
 7月1日 第二地域交流会
 10日 所内交流の日
 18日 第9期第5回事務局会議
 20日 ささえる会世話人会

これからの予定

- 8月10～16日 夏休み
 28～30日 イトヨーカドー販売
 9月10～14日 市役所ロビー作品展
 20日 第一開放デー
 29～30日 きょうされん全国大会
 in ふくい

絵手紙の指導をしてくれる ボランティアさん 書道の指導をしてくれる ボランティアさんを 募集しています

月に一回クラブ活動をしています。通所者の皆さんと一緒に絵手紙を指導して下さる方、書道を指導して下さる方をさがしています。
 第一みんなの家 564-1900
 までご連絡ください。

みんなの家の 仲間になりませんか？

みんなの家には病気や事故などで障害をおった方がたくさん通所しています。陶芸・手芸・さをり織り・押し花製品作りなどのほか、下請け・資源回収、アメやジャムの製造もやっています。また、クラブ活動（絵手紙・書道・俳句・パソコンなど）をしたり、誕生会や一泊研修旅行に出かけたり、毎日楽しくすごしています。野菜たっぷりの昼食も魅力です。自分に出来ることを見つけたいそんなあなたをまっています！お問い合わせは気軽に、各みんなの家までお電話ください

- 第一みんなの家** 東大和市奈良橋6-728-2
 TEL 042-564-1900
 FAX 042-564-1905
 daiichiminnanoie@taupe.plala.or.jp
- 第二みんなの家** 東大和市奈良橋1-276-2
 TEL 042-567-0267
 FAX 042-567-0258
 dainiminnanoie@kjb.biglobe.ne.jp
- 第三みんなの家** 東大和市中心2-1122-5
 TEL 042-562-8776
 FAX 042-562-8733
 daisanminnanoi@kdr.biglobe.ne.jp



発行所 〒157-0071 東京都世田谷区砧六・二六・二二

特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価五十円